

年収約447万円の
家計に例えると…

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

令和5年度の実際の一般会計決算を1/5000にして、約447万円の家計に例えてみました。
市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		令和4年度からの増減	支出		令和4年度からの増減
現金収入合計	413万円	(-16万円)	生活費用合計	334万円	(-10万円)
給料(基本給)	213万円	(+3万円)	食費	80万円	(+3万円)
▶ 市税、分担金および負担金			▶ 人件費		
給料(諸手当)	91万円	(+5万円)	医療費	79万円	(-4万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等			▶ 扶助費		
パート収入	14万円	(+1万円)	光熱水費などの雑費	114万円	(+4万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料			▶ 物件費、補助費等		
親からの援助	95万円	(-25万円)	車などの修理代	14万円	(+3万円)
▶ 国庫支出金、県支出金			▶ 維持修繕費		
ローン(借入金)	8万円	(-27万円)	教育費	47万円	(-16万円)
▶ 市債			子どもへの仕送り	31万円	(+1万円)
貯金の取り崩し	17万円	(-1万円)	▶ 繰出金		
▶ 繰入金			ローンの返済	39万円	(±0円)
繰越金	9万円	(-5万円)	▶ 公債費		
▶ 繰越金			家や庭の建築・改修	20万円	(-37万円)
			▶ 普通建設事業費、災害復旧事業費		
			貸付など	7万円	(+1万円)
			▶ 貸付金、投資および出資金		
			貯金など	3万円	(-1万円)
			▶ 積立金、予備費		
収入合計	447万円	(-49万円)	支出合計	434万円	(-46万円)
			余り	13万円	(-3万円)
貯金額	140万円	(-6万円)	ローン残高	288万円	(-30万円)

令和5年度の家計は…

コロナ禍からの快復に向けた活動が進む中で、給料(基本給・諸手当)は増えましたが、親からの援助が減ったことやローンの借入れを控えたことにより、収入合計は減りました。一方、不安定な国際情勢や社会経済情勢による物価高騰などの影響を受けて、食費、光熱水費などの雑費、車などの修理代にかかる支出が増えたものの、教育費、家や庭の建築・改修に要する支出が大きく減ったため、支出合計も前年より減りました。令和6年度は、貯金が減っていることもあり、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄をなくし、ローンの借入れや貯金の取り崩しを最小限にとどめるなど家計の見直しを行い、安定化を図っていきます。



※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。



令和5年度つうしんば
わかりやすい決算書

発行：亀山市 編集：政策部広報秘書課広報グループ
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955 ホームページ <https://www.city.kameyama.mie.jp>
広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。